

室珠亭舟唄

一素法師

宇治市源氏物語ミュージアム開館20周年記念

宇治を謡う 源氏を舞う

『平家物語』から取材した能『頼政』は、

宇治の橋合戦で破れ、平等院で自刃した源頼政をシテ(主人公)とする世阿弥作の名作です。

頼政の壮絶な最期の有様を見せるとともに、宇治の名所旧跡を美しい詞章で案内します。

素謡『頼政』、仕舞『源氏供養』、『野宮』、『頼政』を取り上げ、

解説を交えながら、言葉の美しさ、『源氏物語』の広がり、宇治の魅力、古典の魅力を紹介します。



京都芸術センター「素謡の会」 撮影：林口哲也 提供：京都芸術センター

平成31年

1月27日(日)

午後1時30分～3時30分(受付1時～)

日時

会場

宇治市源氏物語ミュージアム 講座室

参加費 500円 募集人数 100名(多数の場合は抽選)

応募方法

往復はがきに、「素謡」、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、返信用はがきにも、住所、氏名を書き、宇治市源氏物語ミュージアムへお申し込みください。1枚のはがきにつき申し込みは1名まで。
(源氏物語ミュージアムへ持参の場合は返信用はがきだけで可。)

【締め切り】平成31年1月14日(月・祝) 必着

問い合わせ

宇治市源氏物語ミュージアム

〒611-0021 京都府宇治市宇治東内45-26 TEL:0774-39-9300

出演

河村 晴道さん

味方 團さん

田茂井 廣道さん

河村 浩太郎さん

樹下 千慧さん

(能楽観世流シテ方)



河村 晴道さん



味方 團さん



田茂井 廣道さん



河村 浩太郎さん



樹下 千慧さん

京都芸術センター「素謡の会」
撮影：上杉通 提供：京都芸術センター

能楽への誘い

今日、「能」と「狂言」をあわせて、「能楽」といいます。2001年、国連教育科学文化機関（ユネスコ）により、第一回「人類の口承及び無形遺産の傑作」との宣言を受けました。

役に扮する立方、バックコーラスを担当する地謡、楽器を演奏する囃子方があり、立方はシテ方、ワキ方、狂言方、地謡はシテ方、囃子方は笛方、小鼓方、大鼓方、太鼓方が担当します。

一曲全てを所作や囃子を伴わず着座し、謡のみで上演する素謡や、面や装束をつけず紋付袴で仕舞扇を用いて、一曲のなかで見せ場を舞う仕舞など、様々な上演形態があります。

能の現行曲は約240曲あり、『伊勢物語』『源氏物語』『平家物語』などの古典文学の名作を題材とした作品は、今もなお人気があります。

今回はそうした名作、人気曲から《頼政》《源氏供養》《野宮》を、素謡、仕舞でご紹介します。

【番組】

素謡

頼政 シテ（里の老人・源頼政の霊）

河村 晴道

ワキ（旅の僧）

田茂井廣道

より 頼政：『平家物語』から取材し、宇治の橋合戦で破れ、平等院の扇の芝で自害した源頼政をシテ（主人公）とする。前場（前半）では、宇治の名所旧跡を美しい詞章で案内する。仕舞では頼政の壮絶な最期の有様を見せる。

げんじ 源氏供養：石山寺に紫式部の霊が現れ、『源氏物語』の巻名を詠み込んだ『源氏物語表白』の文句にあわせて、舞う。実は紫式部は石山寺の観音菩薩の化身だった。

ののみや 野宮：『源氏物語』賢木巻に取材した作品。嵯峨の野宮に、六条御息所の霊が現れ、賀茂祭の車争いのこと、伊勢の齋宮となった娘とともに野宮に籠もり、伊勢に向かったことなどを語り、懐旧の思いにひたりながら舞う。

仕舞

源氏供養 田茂井廣道

野宮 味方 團

頼政 河村 晴道

開館時間▶ 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日▶ 月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月28日から1月1日）

※1月2日（水）、3日（木）午前10時から午後5時（入館は午後4時30分まで）は臨時開館します。

観覧料▶ 大人：500円（400円） 小人：250円（200円）（ ）は30名以上の団体料金

宇治市源氏物語ミュージアム

〒611-0021 京都府宇治市宇治東内45-26 TEL:0774-39-9300

京阪・宇治駅より徒歩約8分 JR・宇治駅より徒歩約15分 ※公共交通機関をご利用ください

